製品安全データシート

発行日　　：2013 年 6 月 19 日
改訂日　　―
整理番号　　M150713

1. 化学物質及び会社情報

･製品名：	男前モノタロウ　液状ガスケット
･会社名：	株式会社 MonotaRO
･所在地：	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183　リベル 3 階
･担当者名：	商品お問合せ窓口
･電話番号：	0120-443-509
･FAX 番号：	0120-289-888
･緊急連絡：	所在地と同じ

2. 危険有害性の要約

*GHS 分類

物理的危険有害性	
･火薬類：	分類できない
･可燃性ガス：	非適用
･可燃性エアロゾル：	非適用
･酸化性ガス：	非適用
･高圧ガス：	非適用
･引火性液体：	分類対象外
･可燃性固体：	非適用
･自己反応性物質及び混合物：	分類できない
･自然発火性液体：	分類できない
･自然発火性固体：	非適用
･自己発熱性物質及び混合物：	分類できない
･水に触れると可燃性ガスを放出する物質及び混合物：	分類できない
･酸化性液体：	分類できない
･酸化性固体：	非適用
･有機過酸化物：	分類できない
･金属腐食性物質：	分類できない
健康に対する有害性	

・急性毒性/経口：	区分 4：
・急性毒性/経皮：	分類対象外
・急性毒性/吸入	
- ガス：	非適用
- 蒸気：	分類できない
- 粉じん又はミスト：	分類できない
・皮膚腐食性/刺激性：	分類対象外
・眼に対する重篤な損傷/眼刺激性：	分類対象外
・呼吸器感作性：	分類できない
・皮膚感作性：	分類対象外
・生殖細胞変異原性：	分類できない
・発がん性：	区分 1A
・生殖毒性：	分類できない
・特定標的臓器・全身毒性	
- 単回曝露：	分類対象外
- 反復曝露：	分類対象外
・吸引性呼吸器有害性：	分類できない
環境に対する有害性	
・水生環境有害性	
- 急性：	分類できない
- 慢性：	分類対象外
シンボル：	
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	飲み込むと有害。がんを引き起こす可能性あり。
注意書き	
・予防：	取り扱い後は手をよく洗うこと。本製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。指定された個人用保護具を使用すること。
・対処：	飲み込んだ場合：気分が悪い時は毒物センター又は医師・内科医に連絡すること。口をすすぐ。暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
・保管：	施錠して保管すること。
・廃棄：	内容物／容器は認可された焼却施設で廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品又は混合物の区分：	混合物
化学性質：	シリコーンシーラント
別名：	—
化学特性：	—
成分：	

成分	含有率 wt%	CAS 番号
γ-アミノプロピルトリエトキシシラン	0.1 – 1.0	919-30-2
アンチモン及びその化合物／ニッケル及びその化合物	< 0.1	8007-18-9
メチルトリス-（メチルエチルケトキシモ）シラン	1.0 – 10.0	22984-54-9
ブタノンオキシムビニルシラン	0.1 – 1.0	2224-33-1

4. 応急措置

吸い込んだ場合：	新鮮な空気のところに移動する。医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合：	水と石鹸ですぐに皮膚を洗うこと。洗浄後も症状が続く場合はすぐに医師の診察を受けること。
目に入った場合：	すぐに大量の水ですすいで医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合：	吐かそうとしてはならない。すぐに医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	泡、二酸化炭素又は粉末消火剤で消火すること。
特殊な消火方法：	燃焼源を断つこと。上記の消火剤を使用して消火する。散水によって周辺のタンク類や建物等を冷却し延焼を防ぐ。消火作業は風上から行い、必要な場合は呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

個人の予防措置、保護具及び応急措置：	保護具を装備していない人間の立ち入りを禁止すること。着火源を取り除く。 個人用保護具を使用する。 風上に立つこと。
環境に対する予防措置：	下水、水路又は地面に流れ出さないようにする。
除去方法：	漏出物が大量である場合、土砂や土のうで流出を防止した後で空容器に回収する。漏出物が少量である場合、不活性物で拭き取るか、もしくは吸い取らせた後で空容器に回収する。

二次災害の防止策：	着火源を取り除く。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
安全な取り扱いに関する注意事項：	取り扱い時には眼鏡、手袋、呼吸保護具を着用する。 着火源から離して保管すること－禁煙。湿気から守ること。ふたを開けた容器は密閉をし、なるべく早く使い切ること。本製品は硬化しつつメチルエチルケトキシムを放出する。換気の良い場所でのみ使用すること。蒸気及びスプレーミストの吸入を避けること。
火災及び爆発からの防護に関する注意事項：	本製品は静電気を帯びて電気火花の原因となる恐れがある（着火源）。適切なボンディングおよび/または接地措置をとること。
保管	
保管場所及び容器についての要件：	容器を密閉し、室内の冷暗所に保管する。

8. 曝露防止措置、個人の保護

工学的措置	
適切な全体換気・局所排気装置を設けること。 清潔な水の入った洗眼用ボトル。	
個人用保護具（ppe）	
呼吸器の保護：	MEKO 曝露限界を超える場合（3ppm で 8 時間 TWA、作業場で推奨される曝露指針）、有機ガス用マスクを着用すること。
手の保護：	注意事項：ゴム製又はプラスチック製手袋
目の保護：	側面シールド安全眼鏡
皮膚及び全身の保護：	ゴム長靴を着用する。 耐薬品服。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
形状：	液体
色：	灰色
臭い：	微臭
安全性データ	
pH:	利用可能なデータなし
融点：	非適用
沸点/沸騰範囲：	非適用

引火点：	137℃
自己発火温度：	450℃
爆発下限：	利用可能なデータなし
爆発上限：	利用可能なデータなし
蒸気圧：	利用可能なデータなし
密度：	23 ℃で 1.55 g/cm3
水に対する溶解性：	不溶
その他の溶媒に対する溶解性：	利用可能なデータなし

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件：	熱/火花/裸火から遠ざけること。
混触不可物質：	強酸又は強アルカリの触媒によって重合あるいは分解が引き起こされる。
有害な分解生成物：	水・湿気と反応してメチルエチルケトキシム（MEKO）=2-ブタノン-オキシムを遊離させる。 150℃を超える温度で空気（酸素）の存在下で行われた測定では、酸化分解によって少量のホルムアルデヒドが生成することが示されている。

11. 有害性情報

急性経口毒性：	利用可能なデータなし
急性吸入毒性：	利用可能なデータなし
急性経皮毒性：	利用可能なデータなし
皮膚への刺激：	利用可能なデータなし
目への刺激：	利用可能なデータなし
変異原性：	利用可能なデータなし

更なる詳しい情報

メチルエチルケトキシム（MEKO）の毒性　本製品が水又は湿気に触れるか、あるいは本製品が硬化する際にメチルエチルケトキシムを遊離させる。

皮膚への接触：弱い皮膚刺激を引き起こす場合がある。

目への接触：目に激しい刺激を引き起こす。組織を損傷する場合がある。

急性経口毒性：LD50=4 ml/kg（ラット）

急性吸入毒性：4 時間 LC50=>4.8 mg/l（ラット）

吸入毒性：高濃度での麻酔作用（中枢神経系）。曝露が終了した際、この作用は不可逆的であった。長期にわたる過剰な曝露によって血液に悪影響を引き起こす。

皮膚感作性：陽性（モルモット）。人に対するアレルギー反応はない。

発がん性：雌雄マウス及び雌雄ラットに対する生涯（約 2 年間）吸入試験では、375ppm の高い暴露濃度で雄のマウスと雄のラットにおいて肝腫瘍が認められたことが明らかになった。

その他の長期暴露試験：マウス及びラットの両者において鼻の粘膜細胞の萎縮があらゆる濃度で認められた。より低い濃度においてこの作用は不可逆的なものであった。 許容濃度：TWA3ppm（供給業者勧告値）、STEL10ppm 以内に十分な換気を行うこと。AIHA の WEEL 勧告値は，TWA10ppm である。

12. 環境影響情報

本製品に関する環境影響データは利用可能なものがない。

13. 廃棄上の注意

製品：	本製品は廃棄物処理法に基づいて産業廃棄物と分類される。本法および地域の条例に基づいて廃棄すること。

14. 輸送上の注意

日本における危険物規制情報：
日本消防法第 4 類危険物、第 3 石油類、火気厳禁 輸送規制という意味においては危険物に分類されない。 海洋汚染防止法：炭酸カルシウム。酸化チタン。

15. 適用法令

目録		
オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)	y（ポジティブリスト）	
EU 既存化学物質リスト	y（ポジティブリスト）	
日本既存及び新規化学物質インベントリー（ENCS）	y（ポジティブリスト）	
中国既存化学物質目録	y（ポジティブリスト）	
韓国既存化学物質目録（KECI）	n（ネガティブリスト）	
カナダ国内物質リストインベントリー	n（ネガティブリスト）	
カナダ非国内物質リストインベントリー	n（ネガティブリスト）	
フィリピン化学品及び化学物質インベントリー（PICCS）	y（ポジティブリスト）	
TSCA リスト	n（ネガティブリスト）	TSCA インベントリー未収載
少量規制又は特殊なケースとの記載がなされている目録については、モメンティブ社までご連絡下さい。 国内法		
日本消防法第 4 類危険物、第 3 石油類		
化学物質排出管理促進法（PRTR）、新規指定化学物質（平成 20 年政令第 356 号）：		
第一種指定化学物質		

：	
第一種化学物質：	
第二種化学物質：	
労働安全衛生法：	
第 57 条の 2 で規制された物質： 報告なし	
第 57 条で規制された表示対象物質：報告なし	
毒物及び劇物取締法：	
特定毒物：	
主な法：	非適用
政令：	非適用
毒物：	
主な法：	非適用
政令：	非適用
劇物：	
主な法：	C.I. Pigment Yellow 53［ニッケルアンチモンチタン黄（ルチル型）］
政令：	非適用
高圧ガス保安法	
高圧ガス、第 2 条：	非適用
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）：	非適用

16. その他の情報

参考文献：	化学物質に関する ACGIH（米国産業衛生専門家会議）の TLV(許容濃度) 化学品安全管理データブック（化学工業日報社）
注意：	本製品は、工業使用を目的としてのみ開発並びに製造されたものである。医療用又はその他の特殊な使用を目的とする場合、必ず安全テストを行ってその安全性が確認された後で本製品を使用すること。

	インプラント、注入、もしくは残渣が体内に残り得るような場合のように、人体への適用を目的とする使用を決して行ってはならない。
その他の注意：	その他（参考情報としての住所、電話及び FAX 番号）ここに与えられた情報は、現時点で入手可能な参考図書、情報、データに基づいて確立されたものである。これらの情報については、新たな情報が入り次第、改訂される可能性がある。ここにある説明内容は通常の取り扱いを意図したものである。本製品の特殊な使用については、その使用前に本製品にとって適切な安全規定が設けられるものとする。本書中で明示されている物理特性並びにその他の値は、本製品において予測される平均値であって、保証されたものではない。

更なる詳細情報

本安全データシートに記載の情報は、弊社の最善の知見、情報、所信に照らし、発行時において正確なものです。提供されている情報は、安全な取り扱い、使用、加工、保管、輸送、廃棄、放出のための指針としてのみ記載されたものであり、本製品における保証ないしは品質仕様として認識されるものではありません。これらの情報は、明記された特定物質のみに関するものです。そうした特定物質を他の物質と共に使用したり、何らかのプロセス中で使用したりする場合には、本文中で指定のない限り、これらの情報が有効でない可能性があります。